

オンデマンド配信 視聴参加の募集について

当協会では、アクティブ・ラーニング実現を目指した提案や教学マネジメントの仕組みづくり、教育改善のための教育方法などに関する様々な会議、発表会等を開催し、講演、実践事例の紹介などを行っていますが、これをデジタルアーカイブし、大学教職員の方々にファカルティ・ディベロップメント (FD)、スタッフ・ディベロップメント (SD) の研究資料として活用いただくため、オンデマンドで配信しております。大学では、教員の教育力向上と職員の教育・学修支援として、また、賛助会員企業では、大学での教育支援の状況やニーズを把握するための情報収集として、ぜひお役立て下さい。

詳細は本ページ末のURLよりご覧下さい。

●内容

当協会で開催した会議、発表会等の講演・事例紹介のVTRにプレゼンテーションのスライドを同期させたコンテンツおよびレジュメで、配信の許諾が得られたものです。ただし、質疑応答、討議、本協会の活動紹介などは除きます。

＜対象とする会議、発表会等＞

ICT利用による教育改善研究発表会、教育改革FD/ICT理事長学長等会議、教育改革ICT戦略大会、短期大学教育改革ICT戦略会議、教育改革事務部門管理者会議、大学情報セキュリティ研究講習会です。

●コンテンツ数

平成27年度：159件
平成26年度：173件
平成25年度：141件

●申込単位と利用者

- 正会員（学校法人）、賛助会員（企業）
- 加盟大学・短期大学の教職員および賛助会員企業の社員で、利用者数の制限はありません（学生は対象外とします）。

せん（学生は対象外とします）。

●申し込みと配信期限

参加申し込み受付：随時受け付けます。

配信期間：平成27年12月1日～平成28年11月30日
(継続配信は再度、お申し込みいただきます)

●配信分担金

申込み日から平成28年11月30日までの金額となります。

○正会員

学生収容定員	視聴コンテンツ			
	27年度分のみ	26年度分のみ	25年度分のみ	27年度と26年度
7,000人以下	32,400円	3,240円	0円	35,640円
10,000人以下	43,200円	4,320円	0円	47,520円
10,001人以上	54,000円	5,400円	0円	59,400円

※学生収容定員の算定方法は、正会員設置の加盟大学・短期大学の学生収容定員の合計とします。

○賛助会員（一律の金額）

視聴コンテンツ			
27年度分のみ	26年度分のみ	25年度分のみ	27年度と26年度
43,200円	4,320円	0円	47,520円

●利用環境

追加アドオンソフト(Microsoft Office Animation Runtime)がインストールされていること。

●問い合わせ

公益社団法人 私立大学情報教育協会
TEL：03-3261-2798 FAX：03-3261-5473
E-mail:info@juce.jp
<http://www.juce.jp/ondemand/>

サンプルコンテンツを上記サイトから
ご覧いただけます。

オンデマンドの画面イメージ



【イベント別インデックス】

27年度 公益社団法人 私立大学情報教育協会コンテンツオンデマンド配信		分野別インデックスはこちら	
お断り コンテンツによっては、収録時の機材調整の不具合により、画像、音声の品質の良いものがあります。予めご了承ください。 イベント別インデックス			
平成27年度 ICT利用による教育改善 ※パワーポイント以外で発表している			
発表番号	お断り コンテンツによっては、収録時の機材調整の不具合により、画像、音声の品質の良いものがあります。予めご了承ください。 カテゴリ別インデックス	イベント別インデックスはこちら	
A-01	27年度におけるデジタルリポート		
A-02	ICTを活用した産学連携PBLの		
A-03	薬学生の実践的な情報活用		
A-04	医療系産学教育における入学		
A-05	文系学部利用した学生-社外人		
A-06	クラウドコラボンティイ構築		
A-07	プログラミング入門必修でのカ		
A-08	種込みシステムの実践的活		
A-09	初年次プログラミング教育にお		
A-10	ICT教育支援システムを使用し		
A-11	実践的課題を題材とした初年次		
A-12	オープンデータを活用した地図		
A-13	JMOOC講座を利用した反転学		
A-14	初年次の日本語聴解学習に關		
A-15	初年次学生の履修状況把握		
		大学名	氏名
		独立行政法人日本学術振興会	安西 祐一郎
		独立行政法人日本学術振興会	安西 祐一郎
		筑波大学	金子 元久
		徳島大学	川野 卓二
		茨城工業大学	角田 利巳
		山口大学	林 透
		金沢工業大学	河合 博晶
		横浜国立大学	稲塚 博
		富山短期大学	安達 哲夫
		京都光華女子大学	小山 理子
		玉川大学	稲葉 典己
		追分学院大学	福島 一計
		玉川大学	稲葉 典己

【カテゴリ別インデックス】

大学教育の質的転換改革を実現する 高校教育との一体的改革の方向性

概要：グローバル化・多様化・地方の活性化がすすむ中で求められることは、知識・技能だけでなく、多様な人々と協働できる「問題解決力」を身に付けること。それは、高校教育と大らなければならない。課題は代々のために入学選抜を

アクティブ・ラーニング手法の見取図

知識の活用・創造を促す

プロジェクト学習
創成学習
調査研究・インターワー
実践「ワークショップ」
活動の範囲
広い

チーム基盤学習
問題基盤学習
シミュレーション
ケーススタディ
チーム基盤学習

構造的な自由度
高い

応用志向
低い

専門教育
低い

プロシキア
ネットライティング
ディベート
ディスカッション
発表志向
高い

反転授業 (FC/フリップクラスルーム)

これまでの授業

教室：一斉講義
教師が講義をし、学生は受動的に知識を受けとるだけで知識が定着

自宅：演習など
単位は自宅での予習習をむむが十分行われているとは言い難い

反転

自宅等：動画で受講
学生は事前に知識を受けとる、対面授業に向けて疑問を整理

教室：演習・議論
質疑、演習、協働学習等、学生主体の探究型学習(アクティブ・ラーニング)により理解を深める

【コンテンツ例】